

議案第 4 2 号

羽曳野市名誉市民の推挙に係る同意について

下記の者を羽曳野市名誉市民に推挙したいので、羽曳野市名誉市民条例第 2 条の規定により、議会の同意を求める。

記

住所 アメリカ合衆国

氏名 ダルビッシュ セファット ファリード 有
昭和 61 年 8 月 16 日生

令和 5 年 6 月 2 日 提出

羽曳野市長 山入端 創

略 歴 書

氏 名 ダルビッシュ セファット ファリード 有

生 年 月 日 昭和 61 年 8 月 16 日

現 住 所 アメリカ合衆国

最 終 学 歴 学校法人南光学園 東北高等学校卒業

経 歴

平成 16 年 12 月 北海道日本ハムファイターズ入団

平成 20 年 8 月 第 29 回オリンピック競技大会出場（2008 年北京）

平成 21 年 3 月 2009 年ワールドベースボールクラシック出場（優勝）

平成 21 年 11 月 羽曳野市善行者表彰受賞

平成 22 年 11 月 第 12 回ゴールデンスピリット賞受賞

平成 24 年 1 月 テキサス・レンジャーズ入団（メジャーリーグ）

平成 29 年 7 月 ロサンゼルス・ドジャース入団（メジャーリーグ）

平成 30 年 2 月 シカゴ・カブス入団（メジャーリーグ）

令和 2 年 11 月 羽曳野市特別表彰受賞

令和 2 年 12 月 サンディエゴ・パドレス入団（メジャーリーグ）

令和 5 年 3 月 2023 年ワールドベースボールクラシック出場（優勝）

（現在に至る。）

功 績 概 要

ダルビッシュ セファット ファリード 有氏(以下「ダルビッシュ有氏」といいます。)は、平成 16 年(2004 年)からプロ野球選手として活躍し、プロ野球入団 4 年目の平成 20 年(2008 年)には北京オリンピックに日本代表として出場されました。平成 21 年(2009 年)にはワールドベースボールクラシック(WBC)日本代表選手に選ばれ、投手陣の柱として活躍し、日本の優勝に大きく貢献され、平成 22 年(2010 年)にはプロ野球選手の社会貢献活動を表彰する「ゴールデンスピリット賞」を受賞されました。平成 24 年(2012 年)からはアメリカメジャーリーグに活躍の場を移し、日本人初の最多勝を獲得されました。令和 5 年(2023 年)には再びワールドベースボールクラシック(WBC)日本代表選手に選ばれ、最年長選手としてその経験を活かし、類まれなるリーダーシップでチームメイトをまとめ、日本を優勝に導かれました。

ダルビッシュ有氏は、プロ野球選手として活躍されながらも、子どもたちの心身の健やかな成長を願い、児童養護施設などを訪問し、子どもたちとの交流を図り、夢と希望を与えてこられました。平成 19 年(2007 年)からは日本水フォーラムと協力して、「ダルビッシュ有 水基金」を設立され、開発途上国への水の供給に係る支援を行っておられます。平成 23 年(2011 年)には、日本赤十字社を通じ、東日本大震災の義援金として多額の寄附をされました。

また、ダルビッシュ有氏は、本市に対しても、平成 20 年(2008 年)から公式戦で勝利投手となるたびに 10 万円の寄附をされており、本市は、同年 6 月にその寄附を原資として「ダルビッシュ有こども福祉基金」を創設しました。これまで、中央図書館にダルビッシュ文庫の開設、児童養護施設を退所した児童の進学支援事業、市内小中学校におけるスポーツ育成など、子どもの福祉増進のためにこの基金を活用させていただきました。

本市は、ダルビッシュ有氏に対し、平成 21 年(2009 年)に善行者表彰を授与し、令和 2 年(2020 年)には特別表彰を授与しました。令和 4 年(2022 年)5 月には羽曳野市特命大使(スポーツ・観光大使)に就任いただき、本市の魅力を発信していただいております。

以上のように、ダルビッシュ有氏は、野球界において多大な功績をあげ、歴史に名を残されるとともに、国内や海外においても社会貢献活動を継続されています。

ダルビッシュ有氏は、羽曳野市出身の類まれな著名人であり、その姿は市民だけでなく広く国民に夢と希望を与え、まさに羽曳野市民の誇りであって、その卓越した功績は羽曳野市名誉市民に推挙するに値するものです。